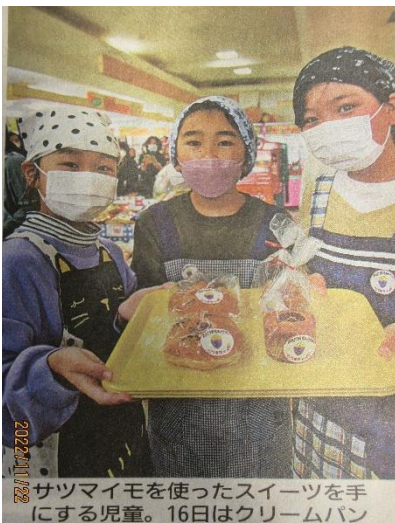


## サツマイモスイーツ食べて

### 三種・浜口小児童が開発 あす地元で販売



三種町の浜口小学校（大山正道校長）の4～6年生が、全校児童で育てたサツマイモを使い、スイーツを開発した。16日に4,6年生が同町浜田の八竜ショッピングセンターポポロで販売。あす21日も5年生が販売する。

浜口小では毎年、全校児童がグラウンド脇でサツマイモを育てている。今年は10月中旬に収穫し、1～3年生が町内の直売所で販売した。

4～6年生は、自分の思いを表現したり、社会のさまざまな人と関わったりする経験をするため、昨年から商品開発に挑戦。今年は9月から児童がアイデアを出し合い、ポポロ内のパン店「メルシィ」の協力を得て試作と製造を行った。

16日は、デニッシュ生地でサツマイモのクリームを包んだ「笑顔になる サクうま！クリームパン」と、ふかして角切りにしたサツマイモが入った「甘さひかえめ サツマフィン」を販売。児童は分担して宣伝や袋詰め、会計の役目を担い、買い物客に「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と元気よく声をかけていた。

6年生の畠山來武君（11）は「お客さんに喜んでもらえるようにという思いで商品考えた。『おいしい』と言って食べてもらえたらうれしい」と話した。

21日は午前11時から11時20分ごろまで、ポポロで「甘さひかえめ サツマフィン」とサツマイモのあんが入った「おいしさしっとり うずまきさつまパン」を販売する。どちらも150円。（佐々木優）



（令和4年11月20日（日）秋田魁新聞より一部抜粋）